

スーパー伊勢湾台風とその備え

スーパー伊勢湾台風とは、

将来、私たちの住む東海地方にやってくるかもしれない猛烈な巨大台風

【強さ】

ここ100年のうち最大の台風である「室戸台風（上陸時 912hPa

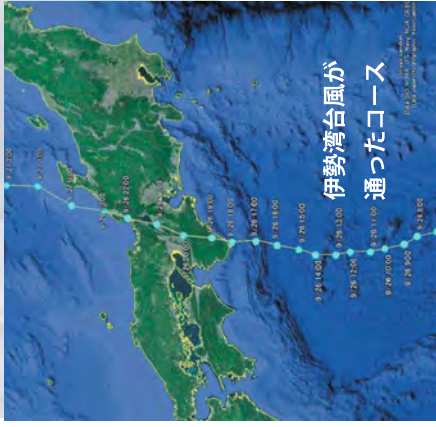
最大風速 60m/ 秒）」の大きさ ※伊勢湾台風は上陸時 929hPa

【通り道】

濃尾平野の海拔 0 m 地帯に最も大きな被害をもたらすコース（伊勢湾台風が通ったコースを通たら…）

しんすいそうてい

浸水想定
最大約520km²



スーパー伊勢湾台風での浸水被害

東海ネーデルラント電線・洪水地域協議会（2008 年）

のつびへい

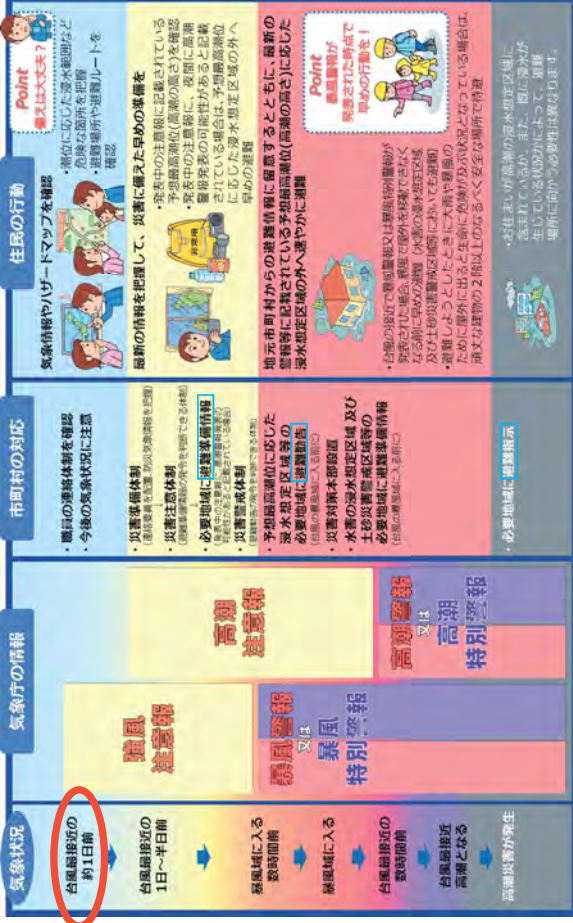
私たち名古屋市民の住む、伊勢湾流域の濃尾平野は、「日本最大のゼロメートル地帯」であり、とても広い範囲が浸水します。また、一度浸水するとなかなか水が引かないと予想されています。



ソナ・エル

協力：名古屋大学減災連携研究センター 田代 喬准教授
名古屋大学防災センター 防災教育アドバイザー 近藤ひろ子
制作：名古屋港防災センター

台風の備えは、「1 日前から」。より遠く、高いところへ。



気象庁HP

避難準備情報 ⇒ 避難の準備を呼びかけるもの。高齢者等要援護者は避難。

避難勧告 ⇒ 災害発生のおそれがある中で、避難行動をします。

避難指示 ⇒ 発令された地域では、確実に避難します。

雨の強さと降り方

一時間雨量	10～20ミリ	20～30ミリ	30～50ミリ	50～80ミリ	80ミリ以上
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る（ゴーゴーと降り続く）	嵐が吹き荒れる恐怖を感じる
人への影響	坂を降り足元がぬれる	傘をさしてもぬれる	傘をさしてもぬれる	傘は全く役に立たなくなる	
屋内（木造）	話し声が長く聞えない				
屋外の様子	地面一面に水たまりができる	道路が川のようになる	水たまりが一面に白っぽくなり、境界が悪くなる		
車に乗っていて	ワイパーを速くしても見えない	高速走行車線と歩道の間に水溜りが生じ、ブレーキが効かなくなる	車の運転は危険		
災害の発生状況	この程度の雨でも、小さな川が氾濫し、小規模の浸水が始まる	山崩れ、道路が切れる	都市部では地下室や地下に貯水した水が溢れ出す	雨による大規模な災害の発生のおそれが高くなる	

名古屋の防火と防災

クイズで知ろう！防災まめ知識

クイズ1

将来、日本に到達する台風の数が増える？

○か×かどちらでしょう。



クイズ2

台風の備えは、台風が来てからでも間に合う。

○か×かどちらでしょう。



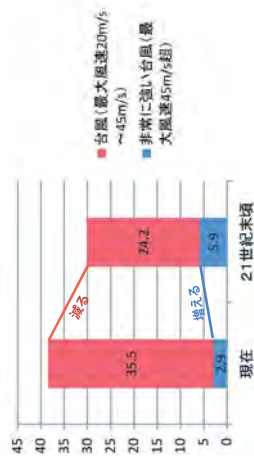
クイズ3

「バケツをひっくり返したようにふる」雨は、「どしゃぶり」の雨より強い。○か×かどちらでしょう。

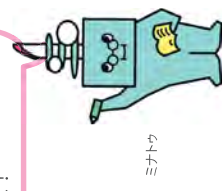
こたえ1

× 減る。ただ、大型の強い台風はより大きくなる。

熱帯低気圧（台風）の年間発生個数



台風の全体の数は減るけど、非常に大型の台風（風速 45m/s 超）の台風は増える予想なんだね！



こたえ2

× 台風の備えは、「1日前から」



台風は事前にいつ来るか？どこに来るか？を知ることができず。是非気象情報をチェックしてね。



こたえ3

○ 「どしゃぶり」は20～30ミリの強い雨。

「バケツをひっくり返したように降る」雨は、30～50ミリの激しい雨です。崖崩れ、山崩れが起きやすい場所では、避難の準備の必要があります。